

**国連気候変動枠組条約第 31 回締約国会議（COP31）
（トルコ・アンタルヤ開催）、
環境省主催「ジャパン・パビリオン」へ出展します**

カナデビア株式会社は、このほど、2026 年 11 月 9 日～20 日（予定）にトルコ共和国のアンタルヤで開催される国連気候変動枠組条約第 31 回締約国会議（COP31）※¹において、「ジャパン・パビリオン」※²に出展する企業の 1 社として展示テーマが環境省に採択されましたので、お知らせします。当社のジャパン・パビリオンへの出展は、3 年連続 3 回目となります。

今回、当社は「気候変動レジリエンスを強化するエネルギー・水のパッケージ・ソリューション」をテーマに展示を行います。気候変動の影響が顕在化・深刻化する中、エネルギーの安定供給や水資源の確保、さらには災害への備えは世界共通の課題となっており、当社はそのような課題に対して、再生可能エネルギー（以下、再エネ）を起点に、水資源の確保、エネルギーの安定供給および資源循環、防災・減災を組み合わせた、緩和・適応の統合的なソリューションを展示します。

具体的には、風力発電等の再エネによるエネルギー供給に加え、再エネを用いた海水淡水化による水資源確保を提示します。また、再エネの余剰電力が生じた場合にも、水素製造・貯蔵を組み合わせることで、再エネを最大限活用することが可能となります。さらに、有機性廃棄物のメタン発酵を用いたガス供給等の資源循環も組み込み可能です。加えて、高潮対策として有効なフラップゲートについてもパッケージの一部としました。

これらのソリューションは、再エネ利用を通じた温室効果ガス（GHG）削減および海水淡水化による水資源確保など、世界各国が直面する気候変動の課題解決に貢献が期待できます。

当社は今後も、多様な技術やソリューションを組み合わせることで、GHG 排出削減や水資源の確保、レジリエンスの向上を通じ、地球規模の課題解決に挑戦していきます。

※ 1 国連気候変動枠組条約締約国会議（COP）は、国際機関や各国の政府・自治体・NGO・企業等のリーダーらが集結し、地球温暖化抑制に向けた国際的な方向性やルールについて議論する国際会議であり、1995 年から開催され、今回で 31 回目を迎えます。

※2 「ジャパン・パビリオン」は、日本の優れた技術や取り組みを情報発信するための場として、近年の COP において毎回、環境省が主催しています。

【COP31 概要】

会 期：2026 年 11 月 9 日～20 日（延長の可能性あり）

開催地：トルコ共和国 アンタルヤ

ご参考：環境省 報道発表資料 [（国連気候変動枠組条約第 31 回締約国会議（COP31）ジャパン・パビリオン設置に伴う開催地展示の採択結果について | 報道発表資料 | 環境省）](#)

【前回 COP30 での当社展示】

当社は、COP30 での出展において、有機性廃棄物の資源利用・適正処理技術を中心とした脱炭素ソリューション技術をパッケージ提示し、多くの訪問者から高い関心を寄せられました。具体的には、メタン発酵施設におけるメタンを中心としたバイオガスの生成、そのバイオガス中に含まれる CO₂と再生可能エネルギー電源を利用した水素製造装置（水電解装置）で生成したグリーン水素からのメタネーション（触媒反応）装置を用いた e-メタン生成、分離膜を用いたバイオエタノール製造施設による高純度バイオエタノールの生成、さらにはバイオ炭化炉では主に家畜ふん尿からのバイオ炭生成、そしてメタン発酵残渣等は焼却発電設備等を用いてエネルギーとして利用することを提示し、100 を超える国・地域から各国閣僚など要人も含め 750 名以上の来場者を集めました。来場者の関心の高さから、このような当社の技術は世界の環境問題解決に寄与するものであることを改めて認識しました。

ご参考：プレスリリース「COP30「ジャパン・パビリオン」にて登壇及び出展、脱炭素と廃棄物処理のソリューション提示」[（FY2025-90.pdf）](#)

（終）